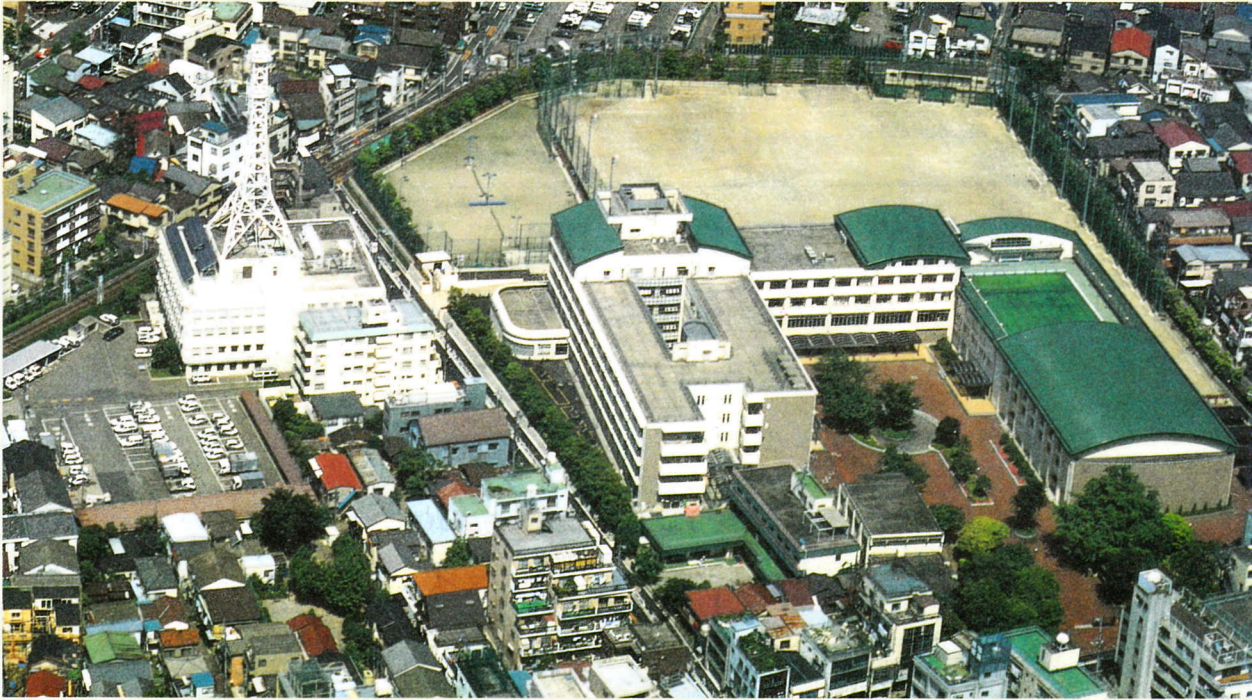


# 紫 笥

第 38 号



平成 7 年 9 月刊

東京都立文京高等学校同窓会誌

目次

同窓会長挨拶	静谷晴夫(四B)	1
同窓会に想いを寄せて下さい	横澤靖夫(2C)	2
同窓会今年度の活動概要		2
直撃インタビュー⑱ 小林伴子さん		3
母校だより		3
教職員異動・中屋先生追悼		6
最近文京事情―入試・教育課程	竹内常夫(12F)	7
会員活躍状況など		8
〈創立55周年〉創立期の校舎の変遷	舟橋二郎(四B)	8
〈戦後50年〉私の中学時代	藤原 滋(三A)	10
他校同窓会訪問記② 小山台高校		11
卒業生進路状況		12
予算・会計報告		表3

平成7年度同窓会役員	
会 長	静谷晴夫(四B)
副 会 長	林 敏子(5D)
会 計	太田敏夫(3A)
常任幹事(名簿)	榎本幸三(4E)
〃 (会報)	杉本安弘(12C)
〃 (集い)	若尾迪治(10A)
〃 (企画)	横沢靖夫(2C)
監 査	八木俊雄(一C)
〃	河野一郎(2A)
在 校 O B 教 諭	太田晶也(4A)
〃	竹内常夫(12F)
〃	飯沼美雄(23C)
〃	渡部 曜(23H)

## 創立55周年 “同窓生の集い”

来てみてください！参加してみてください！みんな楽しんでいます。

10月22日（日）午後2時～ 母校にて

同窓会活性化の元本としての【集い】を下記の要領にて開催いたします。  
 会員皆様お誘い合わせの上、多数の方々の方々の積極的なご参加をお願いいたします。  
 ※ 恩師・旧職員はご招待です。是非ご出席の程お願い致します。

記

日時：平成7年10月22日（日） 午後2時～4時30分

場所：母校 4階 視聴覚教室

内容：※ 静谷晴夫同窓会会長挨拶・糸太郎学校長挨拶

※ 懇親会 軽食と飲み物をご用意いたしますので、クラス会・クラブ  
 O B 会にもご利用下さい。〔ビンゴ・抽選会〕を行います。

会費：3,000円…同封の専用払込通知票をご利用ください。(締切 10月10日)

担当 若尾迪治(10期A)

## 従来事業に加え新企画を育てよう

### 問題は同窓会収入の脆弱さと郵便料金の値上げ

同窓会会長 静谷 晴夫

暑い日が続いております。

長雨で今年は冷夏かと案じていたら、一転酷暑に、一枚のハンカチでは足りない汗の毎日となりました。同窓生の皆様は如何がお過ごしでしょうか、お伺い申し上げます。

小生が会長をお引き受けしてから三年目に入りました。西岡先輩が逝かれて混乱状態にあった同窓会の運営を、何とか二年で軌道に乗せる予定でしたが、一部予定より遅れた部分がありましたので、もう一年やらせて頂くことになりました。宜しくお願い申し上げます。



その第一の原因は同窓会収入の脆弱さです。同窓会の会費は、卒業時に、新会員が収める入会金が殆んど凡てですが、過去数十年の

値上げがごく微量のため、他校会費の半分程であり、殆んど無活動であった20年を経て、新たな活動を始めた新同窓会にとって、大きな壁となっております。また預金金利の低下も傷手です。

第二は郵便料金の値上げです。会員一万八千人を有する当同窓会にとっては、大打撃です。昨年度は、担当役員の非常なご苦勞で、紫筭が何とか発行でき、同窓生の集いも行うことが出来ましたが、今年度も役員委員の方々には大変なご尽力を頂くことになりそうです。でも、一年毎により良くなっています。

昨年度来、担当の榎本君にご努力頂いている名簿のコンピュータ化は、今年度完成の予定です。色々のハードルはありますが、完成の暁には、次への飛躍が期待され、楽しみです。

また、今年度から、今迄の事業以外の新しい企画を育成するため、横沢君に企画担当をお願いしました。皆様からは是非とも色々のご要望をお寄せ頂きたいと存じます。

ゆっくりではありますが、確実に歩を進めて参ります。是非ご協力をお願いして、ご挨拶と致します。

## 同窓会に想いを寄せて下さい

企画担当 横澤 靖夫（2期C）

同窓会も静谷会長を迎えて三年、先輩諸公の遺産を守って更なる発展を願いつつ努力しております。此処で同窓会の今後のありかたについて、皆様からご意見を賜りたいと思います。ご意見をどうぞお寄せください。

同窓会は愛校心のある方々の御協力がなければ運営出来ません。今後の同窓会のあり方としては、クラスの積み上げで運営されるべきである。

文京高校の卒業が我々の「ほこり」であるように、いろいろな行事や先輩の紹介、そして在校生や将来の文京高校志望生に対して、あこがれや抱負を持てるような方向にもってゆきたい。

そんな想いをもってあります。どうぞ皆様御協力ください。みなさんクラス会をひらいてください。そして同窓会に御協力ください。

※ ご意見は次のところにお寄せ下さい。特にクラス幹事（名簿に◎のついている方）は是非とも、一般会員の方の御意見もお待ちしております。

〒一七〇 東京都豊島区西巣鴨一丁目一番五号  
東京都立文京高等学校同窓会

### お知らせ

払込口座番号が変更されました。  
しかし今年中は旧用紙も使用可

文京高校同窓会の払込口座番号は

従来（払込通知票） 東京0-62011

新（払込取扱票） 00100-9-62011

に変更になりました。但し旧用紙も在庫があるためか、今年中は有効です。

今回は用紙が二枚入っております。一枚は「同窓生の集い会費」専用です。出席予定者はこれをご使用下さい。

もう一枚は、奨学賛助金（一口 五千円）、名簿（四千五百円）、及び同窓会運営協賛金の払込みにご利用下さい。

## 平成七年度 同窓会活動概要

### 一、同窓会名簿のより正確化と電算化の検討

名簿の訂正も昨年度、クラス幹事及び会員皆様の御協力により進みました。今年度も一層推進致します。

(一)、住所・氏名・職業の変更訂正を「紫筍発行」前と

「明年三月新名簿発行」前の二回、正確に行う。

ヘクラス幹事・会員各位にお願い。同封の各卒業級

の名簿の空白部分を埋めるように、また訂正部分がある場合は同窓会宛郵便にてご連絡下さい。また転

居通知、結婚通知も一枚を同窓会宛御送付願います。

(二)、名簿の電算化の試行 現在電算化入力を卒業年次

順に行っており、今年度中には目途がつく予定です。

### 二、会報「紫筍」の発行

前号より判形を変更、より読みやすく解りやすい同

窓生のコミュニケーション誌をめざします。同窓生の

活動状況を掲載いたしたく、受賞・著書発行・公的役

職に就いた場合は同窓会宛一報下さい。同期会・同

級会・クラブのOB会の開催等、「紫筍」に載せたい

記事がある場合、同窓会宛毎年六月末迄送付願います。

### 三、「同窓生の集い」の開催

一昨年復活し第三回を十月二十二日（日）母校にて

開催いたします。皆様お誘いあわせの上、御出席下さ

い。内容の詳細は表紙裏ページ下段をご覧ください。

### 四、「同窓会の今後のありかた」の検討

同窓会の更なる発展を願ひ、皆様のご意見を積極的

にお寄せ下さい。詳しくは上段をご覧ください。



## 《趣味が仕事に フラメンコにかける情熱》

昭和44年3月卒業（21期G）

多摩美術大学大学院（美術研究科彫刻専攻）を卒業後、宝飾デザイナーとして活躍、NYのデビアス国際賞を受賞したが、フラメンコへの思い強く昭和53～60年スペイン留学、「マ ITE・ガラン舞踊団」に所属し、欧州各国を公演、また「スペイン王立舞踊演劇高等芸術学院」の公認スペイン舞踊部師範資格を取得。昭和61年帰国後、高田馬場にスペイン舞踊スタジオ開設、平成3年度文化庁主催「芸術祭賞」受賞。また多摩美大の講師。

Q 文京時代はどうでしたか？

A 美術学校を志望していましたので、授業が終わるとすぐ目の美術の塾や踊りを習いに飛んで行きました。高校は卒業すれば良い位に考えていました。でも当時、個性的な先生が多かったですね。最近「毎日新聞」で磯野幸先生の連載を拝見し懐かしかったです。数学の時間はお腹が痛くなるような思いでしたが、数学のおもしろさを情熱的に教えて下さいました。また英語の島村先生も印象的です。

Q 文京卒業後、多摩美に行かれましたね。

A 昭和44年文京を卒業、多摩美術大学に入学。就職先がない（笑）ので大学院（彫刻専攻）まで行きまし。卒業後、宝石の間屋さんに一年間就職。突然にスペインに行ったので皆から狂ったかと思われました。

Q フラメンコを始められた動機は？

A 子どもの頃から踊りが好きでアジア系の民族舞踊を習っていました。16歳の時インターナショナルなことをしようとモダンダンスをはじめました。大学生の時フラメンコに会い、ひかれました。趣味の踊りが仕事となり、「芸は身を助ける」でなく「身を亡ぼす」結果となりました（笑）。私は「踊りが趣味で、彫刻をワーク、ジュエリーデザインをジョブに」と人生設計を描いていたのですが、思い描く理想と自分に合うかどうかは違っていました。嫌いな仕事ではなかったが、段々踊りが好きになっていったのです。実は友達の間で結婚式で恥をかけたのです。フラメンコはリズムで踊るので音楽は基本型式の上に演奏家のセンスが生かされます。ジャズのようなものです。初心者でそんなことも知らなかった私は、結婚式で「踊って」と頼まれ簡単に引き受けたのですが、伴奏のギター演奏が聞いたこともないメロディーに聞こえて青くなってしまいました。本番を必死の思いで過ごして「フラメンコ

とは何なのだ」と言う思いが残りました。これがきっかけで、本格的に学習することになったのですが、とても面白くなってすっかりのめりこんでしまいました。

Q フラメンコは即興的なものですか？

A 基本的なところでは即興的ですが、かなりトレーニングをつまないと即興では踊れません。フラメンコには厳格な規則、合図があり即興で踊ったり演奏したりするためには、これを体得しなければならぬわけです。劇場で作品として上演する場合は、より高い完成度が求められるので、即興性は薄くなります。

Q ハワイアンのようにポーズに意味がありますか？

A ブラッソ（手の動き）には意味がありません。感じるままに表現すれば良いのです。ただ「フラメンコ的な動き」というものがありますから、何をしても良いというわけではありません。

Q スペインの生活は？

A スペインには昭和53〜60年の間行きましたが、貯金も三ヶ月分位しかなく、母から三年間の応援（奨学金）をもらって修業しました。

フラメンコのプロになろうと決心したのが遅かった

（25歳）ので他のことにはわき目もふらずに修業しま

した。

Q スペインの時はプロのグループに入られたのですか？

A 「マイテ・ガラン舞踊団」に所属したり「タブラオ」という場所で踊ったりしました。

スペインでは長期の仕事が多く契約して一カ月、長い場合は一年間毎日踊っていられました。

Q 日本に帰ろうと思われたのは？

A 自分の家族のいるところが国だと思います。むこうで結婚すればそのまま居ついたのでしょうが、幸か不幸か恋人もいなかったものですから、母一人子一人なので母も歳ですから一緒に暮らしたくなり36歳の時帰国しました。

また踊ることには年齢があり、日本では教えることが主体となりますので帰って来ました。教えることは好きです。日本人が日本人にフラメンコを教えることにはそれなりの意義がある事だと思えます。自分の体験でもスペインでは説明なしにものまねをするわけです。それも必要なことですが、説明することにより合理的に学べばなお良いですね。

Q 日本の場合プロは？

A 正直いって日本では長期間踊る場はありません。フラメンコを踊って生活しているプロの踊り手はいませんし、教える事で経済的基盤を確立して、年に一、二回リサイタルを打上げ花火のように行うのが普通です。前回のリサイタルも一日で千二百人の方が来て下さいましたが、チケットを完売したとしても、何百万円もの赤字が出てしまいますので、それで生活は出来ません。

Q 生徒さんは何人位？

A 出入りがありますが約百人です。日本人は習い事が好きですね。十年前日本に帰って来た頃は、二十代後半以降の方が多かったのですが、今では二十代前半の方がお勤めの帰りに練習に来られます。

Q お忙しいようですがお休みは？

A 休みは一応木曜日ですが、母校（多摩美）で講師（身体造形学科）にいらっしゃるので、休みはない



に等しいです。

普通の人とは生活時間帯が三時間程ずれていて、忙しくなるのが午後六時から十時頃迄です。皆様お仕事が終わってからレッスンにいらっしゃるので、ウィークデーの夜はとてにぎやかです。皆様の練習の前後に自分のための練習をしています。

Q 高校時代のお友達とおつきあいをしていますか？

A 私の後援会を作ってくれたのは、中学も高校も同級だった菜畑みどりさんです。昔の友人たちが何かと応援してくれるのは、とてもありがたい事です。最近、築山先生（担任）をお呼びしてクラス会がありました。私は仕事で出席できませんでしたが……。また同期会も毎回幹事は変わるようですが、今回は渡辺吉章さん（21期G）が中心に行って下さったようです。

今回のインタビューは約一時間、小林さんの舞踊教室「アトリエ・ラ・ダンス」でお話を伺いました。

長身で背筋が通ったスタイルと筋の通った考え方から「控え目で熱っぽい舞踊家」という印象を受けました。益々の御活躍を祈念いたします。

インタビュー・江尻了子（20期H）

杉本安弘（12期C）

職員人事異動（平成7年）

〈敬称略〉

定年退職

井川 哲夫 社会（平成元年～）戸山高（嘱託）に  
 高橋 末光 体育（平成2年～）  
 山田 英介 用務（昭和63年～）鷺宮高（嘱託）に  
 転出

山口 宗雄 社会（昭和56年～）大泉高に  
 倉橋 真理 数学（昭和62年～）荻窪高に  
 渡辺 雅子 英語（昭和55年～）上野高に  
 高月 智子 家庭（平成6年～）武蔵高に  
 金子堅太郎 事務長（平成5年～）深川商高に  
 磯貝 洋治 事務（平成6年～）墨田川高分校に

転入・採用

鈴木 啓介 社会 北高より  
 前沢 史明 数学 荻窪高より  
 吉田 亘 数学 足立新田高より  
 羽生 和政 英語 高島高より  
 山崎 和彦 体育 駒場高より  
 高倉 靖夫 事務長 練馬工高より  
 松本 弘樹 事務  
 鈴木 誠一 用務 王子工高より  
 三須 玄雄 事務 荒川区立第六瑞光小より

榎学先生 西高校校長に

昭和62年～平成4年まで教頭を努められ校舎改築事業・創立50周年行事に尽力されました榎先生は、三年間の神津島高校長を勤められた後、本年四月より名門西高校の校長に就任されました。今後の御活躍を祈念いたすとともに、御指導賜りますようお願いいたします。

我校 最初の女性教師

中屋 澄子先生

平成六年六月十六日逝去（82歳）  
 数学 昭和25年～42年勤務

昭和25年は六三制を卒業した最初の高校生が入学した年です。この時より男女共学となり、女子生徒とともに三人の女性教師が赴任されました。中屋先生と奥田（旧姓、天野）宣子先生（化学）浦川（旧姓、小林）恵美子先生です。中屋先生はリーダー格で昭和26年～29年まで女子指導主任を勤められました。平成四年十月の「校舎改築・創立50周年式典」には御元氣なお姿で御出席下さいました。中屋先生は御主人が亡くなったあと都内で一人暮らしの為、同窓生への連絡も遅くなったようです。

御息の中屋芳夫氏（愛知県在住）から伊藤（旧姓、山本）泰子さん（5期CⅡ女子一期生）宛、本年七月二十七日書簡によりまず、「母を語るとなれば、第一が数学、次がダンス、旅行、コース、वाईオリンとなるでしょう。数学に関しては日本で女性文検合格者第一号だっただけに、業績もあり、資料も沢山残っていますのでいずれ本にする予定です。ダンスについては小アルバムを作成しました」ということで、先生の60歳～80歳迄の毎年のダンスの記念写真が送られてまいりました。

② 「文検」とは文部省検定試験の略で、中屋先生は中学校教員免許状を取得されました。当時は中学校（男子）教員資格の方が高等女学校（女子）教員資格より上に格づけられていた。



昭和62年（75歳）、ダンスをされる中屋先生



最近文京事情 —— 現在の入試・教育課程 ——

竹内 常夫 (12期F)

母校は校舎だけでなくカリキュラムも大きく変わっております。特に平成6年度より類型制をとり入れ、生徒の進路希望が実現できるよう工夫しています。その特徴を述べます。

1. 学級編成 1学年8クラス (全校で24クラス)
  - 1 クラス40人……男女はほぼ同数
2. 入学試験
  - 1) 単独選択…都立高校は昨年から単独選択になった。
  - 2) 他学区からの応募も可…第4学区 (文京, 豊島, 北, 板橋) にありますので主体は第4学区からですが, 隣接学区 (第1, 2, 3, 5) から定員の20%迄入学許可できます。
  - 3) 試験科目…一般入試は5教科 (英数国社理) と内申書で可否を判定します。そのウェイトは5教科が60%, 内申書が40%です。
  - 4) 推薦入学…今年度入学者より採用されました。本年度は内申書・小作文・面接による選考で, 定員の10%枠でしたが, 来年度は15%に増加します。
3. 授業の特徴は類型制
  - 1) 1年では芸術以外の全科目を共通に学習します。

特色は「数学I」の授業を進路希望(理系・文系)別に, 1クラスを2班に分けて行う少人数教育です。

- 2) 2年では人文・外国語類型と自然類型の2つに分かれます。選択は生徒の希望によるもので人数枠は設定していません。
  - 3) 3年になると人文類型, 外国語類型と自然類型の3類型となります。また3年の授業の半分位が自由選択となり, 生徒の進路希望が実現できるよう工夫しています。
  4. その他の特徴
    - 1) 「特別講座」があります。「7時間目」に行う科目で, 「マイコン入門」「英語で聖書を読もう」「めざせJリーグ」「園芸」「箏曲」など44講座もあります。
    - 2) 家庭科は男女とも必修。1年と2年で各2時間ずつ受講します。
    - 3) 数学の嫌な人は1年の5単位だけで終る類型もあります。微分・積分を学習しなくても良いわけです。
- (注) 竹内常夫先生は昨年度教務部に属し, 類型制の授業, 推薦入学の実施を行ないました。今年度は1年の担任として進路希望別の1級2班の授業を受持っています。

教育課程 (平成6年度入学生より実施)

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1年		国語 I				地理 A		倫理		数学 I			数学 A		生物 I B			体育		保健		芸術 I		英語 I		オーラルコミュニケーション B		家庭一般		ホームルーム		必修クラブ	
2年	外国語類型	現代文	政治経済		体育		保健		芸術 II		英語 II		WRITING		家庭一般		古典 I		日本史 A		世界史 B		READING		物 I A 物 I A 地 I A		国語 A 演習 A 数学 II		ホームルーム		必修クラブ		
	自然類型	現代文	政治経済		体育		保健		芸術 II		英語 II		WRITING		家庭一般		数学 II		物理 I B		化学 I B		世界史 A		数学 B		ホームルーム		必修クラブ				
3年	人文類型	現代文	体育		READING		世界史 B		WRITING		国語演習 B		(自由選択)		●国語表現 ●古典 II ●古典講読 ●世界史 B ●英語 II ●オーラル A		●物理 B ●日本史 B ●オーラル B ●オーラル C		●政治経済 ●情報数学 ●ドイッ語 ●フランス語		●物理 I B ●化学 I B ●生物 II B ●地学 II B		●食物 ●保育 ●手芸 ●福祉		●地学 II B		ホームルーム		必修クラブ				
	外国語類型	現代文	体育		READING		世界史 B		WRITING		オーラルコミュニケーション C																						
	自然類型	現代文	体育		READING		物理 II 化学 B 生物 II		数学 III		数学 I・II																						

(注) ただし, 古典 II は人文・外国語類型のみ, 古典 I, 数学 C は自然類型のみ選択できる科目です。

明るく楽しい「同窓生の集い」(平成六年)

昨年の「同窓生の集い」は10月23日(日)午後2時、母校視聴覚教室で行われ、約百名の恩師、同窓生が参加し楽しい一刻をすごした。

当日は斎藤智夫氏(29期A)の司会で開会、静谷会長の挨拶と玉田教頭先生(兼校長は海外視察中)のご挨拶のあと、林副会長の発声で乾盃、懇親会にうつった。今回の特徴は①ビンゴゲームを行う(賞品は図書券)。②お連れした幼児のゲーム、③校歌披露(市立三中及び文京校歌)。中メは恒例(?)の若尾迪治氏(10期A)の「大きな輪」で余韻を残して終了した。

本年も10月22日(日)に行いますので皆様お誘い合わせの上御参加下さい。(開催案内は表紙裏下段をご覧ください)



第二回「東京校歌祭」に出演

昨年11月12日(日)比谷公会堂で第二回「東京旧制中学校校歌祭」が開催され、全17校の一つとして市立三中及び都立文京高校も参加し41名が出演した。



当日は13時の開会式のと、各校10分ずつの校歌披露。我校は攻玉杜に次いで二番目の出演。滝谷歌一郎君(12期D)の学校紹介につづき、平田尚也君(32期G)の指揮のもと市立三中校歌「豊島が岡の迎神明の杜に……」と文京校歌「権のかげ枝ふかく茂れるところ……」を高らかに歌った。旧制一期から新制45期まで老若男女のハーモニーも良く好評。第一期(一昨年11月)は若手が集まらず不参加となったが、今回は音楽部OBの小森豊君(43期E)地歴部OBの森田純君(45期B)が39期以降の若手に呼びかけ22名の参加を見たことは大きな収穫であった。

他校では府立二中(立川高)が二百人参加。OBである鈴木都知事も参加、挨拶の言葉も述べられた。

今回の校歌祭に出演して下さった方々や経費を御協賛して下さいました方々に心からお礼を申し上げます。(杉本安弘 12期C)

今年11月18日 ◆第三回校歌祭◆

市立三中、文京高校を「謳歌」しよう!

今年から「東京校歌祭」と改称し、東京都の後援も得られ、都電・都バスや都営・営団地下鉄等の「月間催し物案内」に掲載されます。参加校も府立九中(北園高)等の参加により約20校が予定されます。

日時▼11月18日(日)午後1時

会場▼比谷公会堂 (入場無料)

声高らかに誇り高く市立第三中学校と文京校歌を歌いましょう。特に新制の方の御参加を期待しております。なお現校歌が昭和43年制定のため、校歌の空白期が二十年余りありますがその為の練習会を行います。

日時▼10月7日(日) 午後3時

創立55周年

創立期の校舎の変遷

舟橋 二郎(四期B)

昭和十五年四月五日創立の我校の歴史を語る場合、昭和二十一年四月十三日の戦災によって校舎が焼失し、その後昭和二十七年十二月に新校舎が完成するまでの間、教場が転々と変わったことを取り上げなければなりません。

その様子を『創立四十周年記念誌』をもとにして年表に致しました。この年表の記載事項についてお気付きの点がありましたらお知らせ下さるようお願い致します。

- 一、昭和十五年創立の「第三東京市立中学校」は小学校六年の課程を修了した十二歳の少年が入学し、五年間の中等教育を受ける学校でした。
- 二、中学生(小学校六年の課程修了者)としての入学生は昭和二十一年(七期入学生)新制高校4期卒業生)が最後です。
- 三、旧制一期生と二期生は現在地(西巣鴨)で入学、学習し、校舎全焼直前の昭和二十年三月に卒業しました。(旧制二期生は中学校修業年限短縮により四年で卒業)
- 四、旧制三、四期生、新制一、七期生は校舎焼失の影響を受け、教場を転々とした様子は年表の通りです。
- 五、戦後の六三三四制の実施により新制高校となった文京高校が新制中学校を卒業した新入生を迎えたのは昭和二十五年四月です。
- 六、同時に男女共学となり、初めて女生徒が入学しました。

昭和二十八年入学の新制八期生以降は全て西巣鴨の現在地の校舎で三年間の学生生活を過ごしました。

最終学年(一部は中4)の数字は卒業人数

	27	28	29	30	31
7月					
12月		西 巢 鴨			
立文京高等学校					
S 20.3.27 第1回卒業式					
S 20.3.27 1期生と合同卒業式					
焼後焼跡で授業、S 21.2.28 元町に移転、そこで卒業					
二期卒業式の日)勤労働員に、以下は三期と同じ					
S 20.4 焼跡で移転、S 21.4 元町に移り卒業					
女 68 高3男257	325人				
高2	女 94 高3男221	315人			
高1	高2	女 85 高3男221	306人		

当日 出席希望者及びお問い合わせは左記に葉書にてご連絡下さい。  
 〒一七四 板橋区小豆沢四ノ十一ノ三 杉本安弘  
 (文京高校同窓会校歌祭実行委員会 代表)

### 市三会 創立20周年祝賀パーティ

同窓有志のサロン「市三会」は創立20周年を迎え、昨年12月11日(日)午後1時より池袋の「かんばヘルスプラザ東京」で祝賀パーティを行った。兼校長も来賓として出席され、会員四十数人と、格式ばったセレモニーもなく、いつもの如く談笑のうちに20周年を祝った。

発足 昭和49年10月 当時の同窓会長渡辺剛彰氏(二期A)を囲む恩師渡辺実先生(二期A担任、地歴・故人)と同窓有志13名の集いがあった。この会を継続開催してこうとうということで、発起人の推挙により、末正明(一期B)・栗原正昭氏(一期B)と榎本孝三氏(4期E)の三人が世話人として20年間勤めてまいりました。

注 栗原氏は昨年十月死去により川上光男氏(一期B)が引継ぎました。  
 会員 この会のサロンのな性格や、先輩後輩の別なく自由に発言できる気楽な例会づくりが受け入れられ今や旧制一期から新制20期までの男女の同窓生の知的集団として、恩師を名誉会員として会員数は百四十名になります。

例会 毎月一回の例会は殆んど13日(イチサンに因む)に開き既に二百五十回となります。四月の例会は母校校長室をお借りし、現職の校長・教頭先生にも御出席いただき、会員によるセミナーを実施しております。秋(十月頃)には、会員やご家族も参加できる旅行会を実施。当然ながら十二月の忘年会、正月の新年会は盛大です。

今後の発展 以上のように会則もなく、例会も会員各自の能力・自発性によって運営されています。母校愛・師弟愛・友情を最優先に、血の通う公立高校としては異色の集団として、今後も漸次若い卒業生をお誘いし、この会が発展し脈々と楽しく生き続けることを希求しております。(市三会代表 末正明 一期B)

### 「一人減り二人去りゆくクラス会 五十年目の夏を迎えて」

#### 卒業50年記念クラス会

旧制一期B組

まとまりの良さを誇って来た一期B組も会員が皆、古稀に近づき見出しの短歌のように級友が欠け始め、誰言うとなく毎年六月を定期招集月と定め、今年も六月二十四日(日)、飯田橋「摩天楼」に級友二十人が集い盛会でした。曾ての在校時代の悪童連、成人してからの酒豪連もめつきり酒量が落ち、当番幹事は会費追加の徴収の苦勞も無くなり楽になった。最近亡くなられた世話人栗原正昭君や他の二人の級友に、黙禱を捧げた後宴会に移ったが、話題も当日出席の四人の医師を囲み、互いの健康管理に集中したが、適当に艶のある話も交わしたりして、宴も爆笑裡に終始し、当夜ご欠席の恩師A組担任の佐々木益男先生と体育の松本利雄先生にクラス会報告と記念写真の送付、明石市にお住まいのC組担任の平木智彦先生にお見舞品送付のキャンパを決め、互いに明年六月の再会を期し、怪気炎の裡に散会した。(一期B 末正明)

### 墨田川の船遊び

#### 2期同期会

新制2期同期会の第2回総会が、去る六月十七日浅草橋より出航する屋形船中で二時間半開催されました。出席者は前回よりやや少なかったが、昨年イベントで講演された癌研の尾形院長も出席され、みんな和気あいあい楽しい一日でした。(二期C 横沢靖夫)

### [資料] 校舎の変遷——期別、入学・学習・卒業した場所

昭和/年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26		
校舎所在地	西 巢 鴨				4.13 焼(3・4年) 2月 跡11月(1・2年) 関口台町		元 町				(3年) (1・2年)			
校 名	第三東京市立中学校				7月 東京都立豊島中学校				東京都立新制文京高等学校		25.1.26 東京			
旧制一期(昭和2年度生)	中1	中2	中3	中4	←動員→ 中5 217人		S 15.4.30 開校式、第1回入学式、5年間西巢鴨で授業		S 19.4.25 勤勞動員					
旧制二期(昭和3年度生)	中1		中2	中3	←動員→ 中4 259		西巢鴨で入学、S 19.7. 動員		S 19.7. 勤勞動員、中学校修業年限4年に短					
旧制三期(昭和4年度生)				中1	中2	中3	中4 66人	中5 133人	西巢鴨で入学、S 19.11.25 勤勞動員、S 20.4.13 校舎					
旧制四期・新制1期(昭和5年度生)					中1	中2	中3	中4	中5 60人	高3 55人	西巢鴨で入学、S 20.3.27 (一期)			
新制2期(昭和6年度生)						中1	中2	中3	中4	高2	高3 170人	西巢鴨で入学、旧校舎 S 20.11.15 関口台小		
新制3期(昭和7年度生)	入学直後校舎焼失・焼跡 S 20.11.15 関口台町小、S 21.4 元町で授業・卒業式のみ西巢鴨で						中1	中2	中3	高1	高2	高3 245人		
新制4期(昭和8年度生)	元町に入学、6年間元町で授業				卒業式のみ西巢鴨				中1	中2	併設中学校 中3	高1	高2	高3 299人
新制5期(昭和9年度生)	元町に入学		3年生の7月以降		西巢鴨の新校舎で授業						高1		高2	
新制6期(昭和10年度生)	元町に入学		2年生の12月以降		西巢鴨の新校舎で授業								高1	
新制7期(昭和11年度生)	元町に入学		1年生の12月以降		西巢鴨の新校舎で授業									

## 環境改善を絵本で 小原秀雄氏（一期C）が出版

動物学者で女子栄養大教授の小原秀雄氏が絵本「きみのからだが地球環境」（全五巻、農文協）を編者としてまとめた。

「人間は、環境が人間をつくり、また人間が環境をつくっていることを自覚していない」。小学校三、四年以上を対象としたこの絵本では、まず体そのものが外から取り入れた物質でできていることを説明。子供たちも自分の選択を通して、環境を改善できることなどを訴えた。

「こうした環境のとらえ方をわかりやすく伝えるのは難しく、子供向けの本にするのは、これまでためらいがあった」とも話す。「人間形成に自然がいかに重要かを、編集の話し合いを通して、ぼく自身が改めて説得されたような気がします」。

（7・7・18「朝日新聞」より）

## 「定年後の二十年は夫婦で旅を愉しみなさい」を出版

河野一郎氏（2期A）

最近、熟年夫婦の海外旅行熱は田高もかさなり高まっている。河野一郎氏は標題の如くそのものズバリの本を明日香出版社より昨年十一月出版した。発行部数二万部を超え「当社の出版物では破格の売れ行き」（明日香出版社）。河野氏は「いざ定年になっても新たな趣味をつくるのはなかなか難しい。その点旅行は取っ付きやすいし、行動的で明るいイメージがある」と語る。

（7・3・30「日本経済新聞」より）

## 話術生かしNHKアナから講談師に

末利光氏（3期B）が「神田甲陽」に变身

平成四年十月「創立50周年・校舎改築記念式典」で記念講演をされた末利光氏が昨年十二月四日、文京区湯島の「池之端本牧亭」で講談師「神田甲陽」として出演した。当日は師匠神田山陽氏の独演会であったが定員三十人の本牧亭に約五十人が詰めかけたため独演会は二部制に変更。甲陽氏は第一部、第二部とも「義士と俳人 大高源吾」を語った。一回目は「あがって前が何も見えなかった」。師匠の前座を努めるはずだった二回目も、師匠が先に高座へ向かってしまった。デビューの高座で突然、トリをとることに。「谷底に突き落とされた気分」と緊張感を高めた。

甲陽氏はストライプのワイシャツ、青と緑のネクタイに「播州赤穂浪士」と染めた羽織姿で登場。自身の体験した中間管理職の苦勞をマクラに、冷徹な参謀役を果たした大高源吾の活躍を講釈した。

甲陽氏は今後レパトリーを増やししながら、第二次大戦などの現代史をテーマにした新作に挑戦する。「組織の中で苦しんだNHK時代と違い、一人で芸と格闘する苦しさのある第二の人生。しかしばら色です」（6・12・5「毎日新聞」等より）

## 日本公認会計士協会会長に 高橋善一郎氏（2期A）

本年七月五日付で高橋善一郎氏が日本公認会計士協会の会長に就任した。高橋氏は文京高校には神戸より転校し三年生の一年間だけ在籍。卒業後大阪外大から早大を経て昭和31年「太田昭和監査法人」に勤務。協会では昭和56年の理事就任以来、常務理事、副会長を歴任した。副会長時代は商法改正で官公庁との折衝や根回し、要望書提出などの「裏方」をこなした。

## 終戦50年

### 私の中学時代

藤原 滋（二期A）

昭和17年4月 市立三初中入学  
昭和21年3月 都立豊島中卒業（四年）

本稿は取手市役所発行の「赤い炎と青い草―戦争体験記」（平成四年刊）より本校に関係ある部分を抜粋しました。

中学一年生の間は学校で無事授業が出来たものの、二年生になると東京防衛のための飛行場造りに動員され、モッコで土を運ぶ毎日となった。戦闘機の座席に座ったり、酒保でオシルコをご馳走になったり、やさしい兵隊さんたちに可愛がられたことや、飛行場が完成して一番機が着陸して来た時の感激は、今でも忘れられない思い出である。三年生の秋、収穫期の農家に手伝いに行ったら、帰りに労働のお礼としてカバン一杯の「いもや大根」をもらって、父や母に喜ばれたのが何よりであった。自分で物を初めて稼いだという満足感であったようである。（中略）

三年生も終りに近づいた頃（昭和二十年）戦況はますますきびしくなり、私達は本土決戦用の特攻艇の製造工場に動員された。冬の寒い雪の日の夕方、私達の中学校が爆弾で炎上中と聞き、かけて消火に当たったが、全焼してしまった。その後、授業は夕食後の食堂の片隅で、夜七時までの一時間半のみとなった。日々激しくなる空爆、隅田川沿いの工場に対し、爆弾攻撃が続く。（中略）

工場の本棟がやられ復旧作業に全力を上げているとき、悲しい事件が起きた。川向かいで作業を終え引き上げて来る私達の乗っていた伝馬船が沈み、人工呼吸の甲斐なく二人の友人が息を引きとったのである。皆で泣いたノさつきまで話をしていた友人がもう話さないなんて信じられなかった。

四年生となった時、東京の夜間大空襲も本格的になっていた。五月二十五日夜、私達家族の住む山手方面を敵機が襲った。台所の床板を上げ、外に通ずる地下壕に入る。ズーンと地響がする度に土壁がサラサラと落ちる。「焼夷弾が落ちた」と叫ぶ声に飛び出し、火をみんなで消す。（中略）

横浜までベニヤ板を取りに行った帰り道、川崎のペイント工場が広島に新型爆弾が落ちたことをラジオで聴いた。何日かして、工場で重大な放送があるので全員集合するよう連絡があった。終戦の放送であった。方々でくやし泣きの声が大きな波となつてうねった。生き残った少年達は、焼け跡の土間の教室で戦いのエネルギーを勉強に転換し、元気で明るく国の復旧を目指して巣立つて行った。（後略）



## 他校同窓会訪問記 第二回

### 菊桜会（都立小山台高校同窓会）

今回は同窓会の運営・活動に特色のある都立小山台高校（旧府立八中）同窓会を訪問した。幹事長の増田次郎氏（新制17期弁護士）と前幹事長中村順洋氏（新制6期、京橋で紳士服店を経営）から伺った内容は次のとおり。

同窓会の組織であるが、同窓会長には経済界の有名人名人をお願いしている。現在は「東レ」伊藤会長です。実務は幹事長が取り切り、二十名の常任幹事が活動を担当している。

幹事総会は各期（旧制二十期、新制四十期）二名で構成しているが出席者は60名と約半数である。（これだけ大世帯になるとクラス幹事まで掌握できない。）

次に「菊桜会」総会は毎年約二百人が参加されるが、ほとんどが四十歳以上。我校との違いは恩師の大部分が出席されるとのことで師弟の繋りの深さを感じる。（総会担当者が恩師の出欠状況を電話で確認）

「菊桜会」独自の活動として特徴的なものが二つがある。

一つは「同窓生による同窓生のための就職ガイダンス」、もう一つは昭和38年同窓有志が所有していた千400坪の土地を売却した資金で設立され、現在公益法人としての活動もしている「財団法人小山台」

写真／(左)増田幹事長と(右)中村前幹事長

（現在の資産約62億円）がある。就職ガイダンスは、大学4年生

や短大2年生を対象として、社会人である先輩方が就職のためのアドバイスや注意を質疑応答のなかで行われている。今年で12回目、最近の就職事情を考えると、同窓会としてのこのような活動は、非常に心強いものがある。

もう一つの「財団法人小山台」は、学校、同窓会、PTAで運営委員を出し運営しているが、小山台高校に関する事業だけではなく、公益法人として公益性のある事業活動を目指している。なかでも国際交流事業は、最も顕著なもので、生徒を海外に派遣（今年ドイツに20人、3週間）し、また海外からもホームステイを受け入れている。その目的は、生徒が世界にある様々な文化を認識・体験すること、人種や国籍を越えて外国の人々と友情と理解を深めること、それを契機として視野を広め、人間的成長をはかること、である。その他「教育相談事業」、「学習相談コーナー」などの支援事業を行っている。また、他の公立高校の部活動へ一校10万円の援助も行っている。

同窓会活動の資金としての年会費（2千円）は、前回の九段高校同様、納入率が思わしくなく、将来は銀行自動引落としを検討している。

名簿の電算化は前会長が平田ユニバック社長であったため、昭和58年に完成している。

これから中学卒業生がますます減少するなかで、ムードとしての私立高校進学傾向に歯止めをかけ、実際より低く評価されている小山台高校を正当に評価して貰うために財団の援助を仰ぎつつ、学校・同窓会として宣伝活動を行っていくとのこと。

幹事長職は同窓会を取り仕切るとともに「財団法人小山台」の理事（同窓会長が理事長）である為、時間を割かねばならず、増田幹事長及び中村前幹事長の献身的な活躍に敬意を表します。余談ですが中村氏の御息女は我校OG（中島早苗さん、36期G）です。

インタビュー／椎橋章二（6期A）・杉本安弘（12期C）

卒業生進路状況 平成7年4月現在

跡見学園短大	4(2)		4(2)
大妻女子大学短大	1		1
川口短大	1		1
川村短大	2(1)		2(1)
共立女子短大	4		4
国際短大	2(1)		2(1)
駒沢短大	5(1)		5(1)
駒沢女子短大	1		1
産能短大	2(2)		2(2)
淑徳短大	5(3)		5(3)
高美学園短大	1(1)		1(1)
昭和女子大学短大	1		1
十文字学園女子短大	3		3
城西大学女子短大	3(1)		3(1)
女子栄養短大	2(1)		2(1)
女子聖学院短大	1		1
女子美術短大	1	3	4
杉野女子大学短大	1		1
成城短大	1		1
聖徳栄養短大	1		1
聖徳大学短大	1(1)		1(1)
創価女子短大	1		1
帝京短大	2		2
帝京女子短大	1		1
戸板女子短大	2		2
東海大学短大	1(1)		1(1)
東京家政学院短大	1		1
東京家政大学短大	5(3)		5(3)
東京経済大学短大	2①		2①
東京女子体育短大	1		1
東京体育短大	1(1)		1(1)
東京成徳短大	3		3
東京文化短大	1		1
東洋女子短大	5(3)		5(3)
東洋大学短大	8(1)		8(1)
東横学園女子短大	3		3
富士短大	2		2
文化女子大学短大	1		1
文京女子短大	2		2
武蔵丘短大	1		1
武蔵野女子大学短大	1		1
武蔵野美術短大		3	3
山陽学園短大	1		1
短期大学合計	9225①	6	9825①

3) 専門学校

専 門 学 校 名	現 役	浪 人	合 計
中央工学校	2(1)		2(1)
東京建築専門学校	2		2
東京製園専門学校	1		1
東京電子専門学校	1		1
日本電子専門学校	1		1
東京都立豊島看護専門学校	2(1)		2(1)
日本医科大学看護専門学校	1		1
帝京医学技術専門学校	1		1
東京医学技術専門学校	1(1)		1(1)
東京公衆衛生学院	1(1)		1(1)
社会医学技術学院	1(1)		1(1)
服部栄養専門学校	2(1)		2(1)
東京栄養食糧	1(1)		1(1)
武蔵野栄養	1		1
東京調理師専門学校	1		1

甲南大学		1	1
国学院大学		1	1
国士舘大学		3	3
駒沢大学		2	4① 6①
埼玉工業大学		2	2
昭和女子大学		1	1
白百合女子大学		2(1)	2(1)
城西大学		3(1)	3(1)
上智大学		2(2)	2(2)
椋山女子学院大学		1	1
成蹊大学		1(1)	1 2(1)
専修大学		2	2 4
創価大学		2	2
高千穂商科大学		1	1
拓殖大学		3(1)	3(1)
玉川大学		1	1
多摩美術大学			2① 2①
第一工業大学		1	1
大東文化大学		7(1)	7 14(1)
千葉工業大学		2	2
千葉商科大学		1	1
中央大学		4(2)	1 5(2)
帝京大学		4(3)	1 5(3)
桐蔭学園横浜大学		1	1
東海大学		3(1)	4 7(1)
東京家政大学		1	1
東京国際大学		4(3)	2 6(3)
東京電機大学		3(2①)	4 7(2①)
東京農業大学		1	1
東京薬科大学		1	1
東京理科大学		1	1 2
東邦大学			2 2
東北学院大学			1 1
東洋大学		7①	6 13①
獨協大学		2	1 3
二松学舎大学		1	1
日本大学		2	5 7
日本女子体育大学		1(1)	1(1)
日本体育大学		1	1 2
白鷗大学		1	1
文化女子大学		1	1
文教大学		1	1
法政大学		4(1)①	4① 8(1)②
武蔵大学		1	1 2
武蔵野音楽大学		1	1
明治大学			2① 2①
明治学院大学		2	2
明星大学		1	6 7
目白大学		1	1
横浜商科大学		1	1
立教大学		1	1
立正大学		4①	4①
麗沢大学		1	1
私立大学合計	9384③	83⑦	17624④

2) 短期大学

短 期 大 学 名	現 役	浪 人	合 計
(国 公 立)			
東京都立商科短大	1	0	1
(私 立)			
青葉学園短大	1		1
亜細亜大学短大	2(2)		2(2)

1. 進 学

(名)

	区 分	現 役			浪 人			合 計
		合格者数	うち推薦	うち2部	合格者数	うち推薦	うち2部	
四年制大学	国公立	0	—	—	4	—	1	4
	私立	93	24	3	83	—	7	176
短期大学	国公立	1	—	—	0	—	—	1
	私立	91	25	1	6	—	—	97
専門学校		64	23	—	0	—	—	64
計		249	72	4	93	—	8	342

2. 就 職

(名)

	公 務 員			
	1		—	1
	8		—	8
計	9		—	9

学校別

注：( ) は合格者の中での推薦合格者数  
○印は合格者の中の二部合格者数

1) 四年制大学

(国 公 立)

大 学 名	現 役	浪 人	合 計
(国 立)			
北見工業大学		1	1
電気通信大学		1①	1①
東京学芸大学		1	1
(公 立)			
東京都立科学技術		1	1
国公立大学合計	0	4①	4①

(私 立)

青山学院大学	1	1①	2①
亜細亜大学	1		1
追手門学院大学		1	1
大妻女子大学	1		1
神奈川工科大学		1	1
神奈川商科大学	1		1
関西大学		1	1
北里大学	1	2	3
京都外国語大学	1(1)		1(1)
京都学園大学	1(1)		1(1)
共立薬科大学		1	1
杏林大学	2(2)	1	3(2)
敬愛大学		1	1
工学院大学	1	3①	4①

# 就 職

(1) 公 務 員 計 1 名

男子 1	自 衛 隊
------	-------

(2) 会 社 計 8 名

男子 2	ビッグシェフ㈱ (店舗調理) 凸版印刷㈱ (操 作)
女子 6	三陽電機製作所㈱ (事 務) シモジマ商事㈱ (事 務) 大日本印刷㈱ (事 務) トータス㈱ (事 務) 山野井㈱ (事 務) ヌ・ル㈱ (販 売)

文化服装学院	1		1
大塚来子きもの学院	1(1)		1(1)
東京コミュニケーションアート専門学校	1(1)		1(1)
日本ジャーナリスト専門学校	1		1
東洋美術学校	1		1
ヤマハ音楽院	1		1
甲陽音楽学院	1		1
日本映画学校	1(1)		1(1)
東放学園専門学校	1		1
専門学校東京コンセルヴァトール尚美	1(1)		1(1)
専門学校合計	64(23)		64(23)

武蔵野調理士専門学校	2(2)		2(2)
国際理容美容専門学校	1		1
東京総合理容美容専門学校	1		1
日本美容専門学校	1(1)		1(1)
竹早教員養成所	1		1
東京教育専門学校	1		1
帝京大学福祉保育専門学校	1		1
彰栄保育福祉学校	1		1
東京都練馬高等保育学院	2		2
帝京福祉専門学校	1		1
東京 C.P.A 専門学校	1		1
東京商科学院専門学校	1		1
東京 Y M C A 専門学校	1(1)		1(1)
お茶の水ビジネス専門学校	1(1)		1(1)
専門学校日本スクールオブビジネス	1		1
専門学校一橋スクールオブビジネス	2(1)		2(1)
日本医療秘書専門学校	1(1)		1(1)
東京医療秘書専門学校	1(1)		1(1)
早稲田速記秘書専門学校	3(2)		3(2)
東京法科学院専門学校	1		1
駿台トラベル専門学校	2(1)		2(1)
トラベルジャーナル旅行専門学校	1		1
神田外語学院専門学校	1(1)		1(1)
専門学校お茶の水外語学院	1		1
専門学校神田外語学院	2		2
駿台 E L S 英語学院	1		1
セツ・モードセミナー	1		1
東京ファッションアカデミー	1		1

株式会社 八 洲 代表取締役
一期 B 川 上 光 男
〒114 東京都北区王子本町2-11-6 会社 Tel.03-3909-3211 自宅 Tel.03-3815-2839

弁 護 士
二期 E 早 川 律 三 郎
〒150 渋谷区神宮前2-30-5 原宿キャステル2093 早川律三郎法律事務所 Tel.3475-0330

弁 護 士
二期 D 原 田 策 司
事務所 〒104 東京都中央区銀座7-5-4 毛利ビル4 F Tel.03-3571-1780 自 宅 〒145 東京都大田区上池台3-30-1

一ッ橋印刷株式会社 代表取締役
四期 C 菊 池 達 長
会社 〒141 東京都品川区上大塚3-12-15 自宅 〒237 横須賀市湘南鷹取6-21-10 Tel.0468-66-1493

大橋特許事務所 弁理士
17期 E 大 橋 邦 彦
〒113 東京都文京区本郷5-1-16 NP-IIビル11階 事務所 Tel.03-3814-5921 自 宅 Tel.03-3957-1533

弁 護 士
7期 D 大 辻 正 寛
事務所 〒102 千代田区九段北1-9-14 九段ハイム707号 Tel.3239-4099 Fax.3221-9460 自 宅 〒274 船橋市三山1-11-15 Tel.0474-75-9401

示現会会員 (洋画)
2期 A 若 林 成 佳
〒104 東京都千代田区神田佐久間町1-8 ニュー千代田ビル608 Tel.03-3255-5973

山岸税理士事務所 税理士
四期 E 山 岸 英 二 郎
事務所 〒162 新宿区下宮比町2 飯田橋ハイタウン531号 Tel.03-3266-0789 〒247 鎌倉市今泉台6-20-2 自 宅 Tel.0467-45-8033

宮本智法律事務所 弁護士
18期 H 宮 本 智
〒169 東京都新宿区北新宿1-8-23 アムハードビル7 F 事務所 Tel.03-5386-6911(代) 自 宅 Tel.03-3926-5354

<p>四期C <b>今泉勝彦</b></p> <p>〒108 港区白金2-7-23 白金グレースビル Tel.03-3446-7520</p>	<p>高松診療所（産婦人科） 所長</p> <p>一期B <b>野久保泰徳</b></p> <p>〒190 立川市高松町2-2-14 Tel.0425-27-3541</p>	<p>野村医院 院長</p> <p>一期B <b>野村総一郎</b></p> <p>〒302 取手市桑原1081 Tel.0297-74-8811</p>
<p>水谷歯科診療所</p> <p>3期E <b>水谷義文</b></p> <p>病院 〒101 千代田区外神田1-16-1 万世ビル2階 Tel.03-3253-9186 自宅 〒340 草加市西町435-1 Tel.0489-28-7541</p>	<p>小室産婦人科医院 院長</p> <p>三期E <b>小室陽一</b></p> <p>〒114 東京都北区岸町1-12-22 病院 Tel.03-3907-0303 自宅 Tel.03-3907-0280</p>	<p>虎の門 日比谷クリニック （皮膚科・泌尿器科・形成外科 健保扱い）</p> <p>一期C <b>山中秀男</b></p> <p>自宅 〒152 東京都目黒区本町4-8-20 Tel.03-3714-9513 医院 〒105 東京都港区虎ノ門1-1-20 Tel.03-3508-2508</p>
<p>静岡歯科医院（歯科一般）</p> <p>4期D <b>静谷栄夫</b></p> <p>（午前）〒170 豊島区駒込3-11-3 Tel.03-3915-1108 （午後）〒170 豊島区西巣鴨3-8-15 Tel.03-3915-0072</p>	<p>中村耳鼻咽喉科医院</p> <p>一期C <b>中村信成</b></p> <p>〒262 千葉市花見川区幕張町5-252-39 Tel.（医院）043-273-7026 Tel.（自宅）043-272-6625</p>	<p>二期A <b>湖山聖道</b></p> <p>・医療法人社団 湖聖会 理事長 銀座医療 Tel.03-3541-1151 銀座健康管理センター Tel.03-3541-3340 〒104 東京都中央区銀座7-13-15</p> <p>・湖山病院 名誉院長 Tel.0545-36-2000</p> <p>・社会福祉法人苗場福祉会 理事長 老健施設 みさと苑 Tel.0257-65-3400</p>
<p>はすみ敬愛病院 リハビリ科長 理学療法士</p> <p>5期E <b>椎名健二</b></p> <p>病院 〒313 茨城県常陸太田市山下町972 Tel.0294-73-1311内線22 自宅 〒112 文京区水道2-11-4 Tel.03-3943-3912</p>	<p>大蔵耳鼻咽喉科医院</p> <p>2期A <b>大蔵丈太郎</b></p> <p>〒170 豊島区南大塚2-11-8 Tel.03-3947-8733</p>	<p>静谷クリニック（内科）</p> <p>四期B <b>静谷晴夫</b></p> <p>〒170 東京都豊島区西巣鴨4-6-2 病院 Tel.03-3910-1136 自宅 Tel.03-3910-1219</p>
<p>株式会社 サトウケミカル 医薬部外品製造販売／化粧品製造販売</p> <p>4期C <b>佐藤佳男</b></p> <p>〒352 新座市野火止8-16-7 会社 Tel.048-481-2323 自宅 Tel.048-474-8456</p>	<p>大橋耳鼻咽喉科医院</p> <p>5期B <b>大橋順二</b></p> <p>東京都北区滝野川6-9-11 Tel.03-3916-8787</p>	<p>中村クリニック</p> <p>3期B <b>中村博</b></p> <p>〒170 豊島区南大塚2-32-3 自宅 Tel.3944-4103 医院 Tel.3945-8072</p>
<p>福祉機器・介護用品のオーダーメイド テックラフト</p> <p>30期E <b>八田隆</b></p> <p>〒355-05 埼玉県比企郡都幾川村 大野1508-6 （勤）Tel.0493-67-1722 （自）Tel.0493-67-1644</p>	<p>東京都北区議会議員待遇者 医療法人赤羽病院理事長 税理士（王子税理士会顧問）</p> <p>四期C <b>はいばら富士雄</b></p> <p>〒115 東京都北区志茂1-17-13 Tel.03-3901-8554</p>	<p>津田沼病院 院長</p> <p>8期D <b>梶本伸一</b></p> <p>〒275 千葉県習志野市津田沼1-18-45 Tel.0474-79-2611 Fax.0474-79-2674</p>



<p>ライセンス保険事務所</p> <p>1期A B 原 巍</p> <p>〒240 横浜市保土ヶ谷区仏向町874-4-11-101          自宅 Tel.045-332-0673          会社 Tel.045-312-5024</p>	<p>小林学習塾</p> <p>一期B 小林 一夫</p> <p>〒174 東京都板橋区東山町5-13          Tel. &amp; Fax.03-3972-1227</p>	<p>スペースコンセプト(株) 所長          一級建築士          日本工業大学建築学科教授</p> <p>5期B 村口 昌之</p> <p>〒152 東京都目黒区中根1-3-12          第3ノアビル3F          Tel.03-5701-2131          Fax.03-5701-2132</p>
<p>旅と保険の御用命は          安田火災・東邦生命代理店          (株) ポア</p> <p>2期C 横澤 靖夫</p> <p>Tel.03-3812-9890</p>	<p>講師 神田 甲陽</p> <p>(平成元年山陽師匠より真打ち認可)          第2の人生をたのしくと呼びかける。旅費さえ下されば全国どこへでも。</p> <p>3期B組 末 利光 0552-53-8772</p>	<p>勝村建設株式会社          専務取締役</p> <p>5期D 市川 英雄</p> <p>〒110 東京都台東区根岸1-2-13          Tel.03-3876-0111(大代表)          Fax.03-3876-6900</p>
<p>旅のアドバイザー          (各団体・法人講演会講師)</p> <p>2期A 河野 一郎</p> <p>自宅 〒176 東京都練馬区羽沢2-13-6          Tel.03-3993-4554          Fax.03-5340-3424</p>	<p>株式会社 経営開発センター          (教育訓練・指導・分析・調査)          代表取締役</p> <p>5期E 中村 昌男</p> <p>研究所 〒101 東京都千代田区神田駿河台2-3-401          Tel.03-3295-8363          Fax.03-3295-8050</p>	<p>植村設計事務所          一級建築士</p> <p>7期D 植村 邦夫</p> <p>〒113 文京区白山1-29-10          Tel.03-3811-6612</p>
<p>JAL/DFS          デューティフリーショップパース株式会社          顧問</p> <p>3期C 大谷 唱二</p> <p>〒286 千葉県成田市花崎町816-2          タムラビル7F          Tel.0476-22-8568          Fax.0476-22-8567</p>	<p>古流松慶会家元・会長          千家表流茶道宗家</p> <p>5期D 若林 百合子</p> <p>〒113 文京区千駄木2-31-4          (自) Tel.03-3821-9476          (勤) Tel.03-3827-7018</p>	<p>株式会社 田中建築設計事務所          代表取締役 一級建築士</p> <p>12期F 田中 修一</p> <p>〒263 千葉県稲毛区稲毛東3-16-13 二葉ビル          Tel.043-246-4611(代)          Fax.043-246-5698</p>
<p>旅館 朝陽館本家          代表取締役</p> <p>5期C 種田 守宏</p> <p>〒113 東京都文京区本郷1-28-5          Tel.03-3814-8181          Fax.03-3814-8177</p>	<p>学校法人丸島学園 城北ひまわり幼稚園          理事長・園長</p> <p>12期A 丸島(富田)高三</p> <p>〒114 東京都北区昭和町1-8-10          Tel.03-3800-1662          Fax.03-3893-5170          〒116 自宅 東京都荒川区西尾久8-27-20          Tel.03-3800-2517</p>	<p>加藤友和建築設計室          一級建築士</p> <p>19期I 加藤 友和</p> <p>〒115 東京都北区赤羽2-56-10          Tel.03-3903-4710          (自) 〒351 朝霞市朝志ヶ丘4-10-13-409          Tel.048-474-2085</p>
<p>クラス会・大小宴会に          割烹</p> <p>大塚 松し満</p> <p>11期B 新井 定雄</p> <p>〒170 豊島区南大塚1-60-14          Tel.3941-4708</p>	<p>フラメンコ・スペイン舞踊教室          アトリエ・ラ・ダンサ</p> <p>21期G 小林 伴子</p> <p>〒171 豊島区高田3-13-8 ヨシミビルB2          Tel.03-3980-5658          (自) Tel.0484-44-6627</p>	<p>くらしを考える水と空気のクリエイター          株式会社 トキタ</p> <p>代表取締役 <small>きみ</small> 時田 <small>しろ</small> 公代</p> <p>26期C 時田 公代</p> <p>〒174 東京都板橋区坂下1-17-19          Tel.03-3960-7701(代)          Fax.03-3588-6980</p>

<p>日本自動車ジャーナリスト協会 (AJAJ) 会員</p> <p>5期B <b>福 永 頌</b> (筆名 鈴木 五郎)</p> <p>〒186 東京都国立市富士見台1-28-1-35-403 Tel.0425-77-3750</p>	<p>株式会社 末商会 (出光ガソリン・貸ビル・自動車販売整備) 専務取締役</p> <p>1期B <b>末 正明</b> (市三会展長)</p> <p>本社 〒112 東京都文京区後楽2-6-1 Tel.03-3811-0755 Fax.03-3815-7818 飯田橋 Tel.03-3269-0257 神保町 Tel.03-3261-5111</p>	<p>1期B <b>小 倉 恒 雄</b></p> <p>〒191 日野市百草971-248 Tel.0425-91-1441</p>
<p>二葉紙業株式会社 専務取締役</p> <p>4期E <b>榎 本 幸 三</b></p> <p>Tel.03-3265-6151 (自宅) 〒201 狛江市西野川2-29-5 Tel.03-3489-7591</p>	<p>2期A <b>樋 口 良 雄</b></p> <p>〒112 東京都文京区千石1-24-11 Tel.03-3942-0450</p>	<p>有限会社 フェアリーハウス (妖精の家) コーヒー・ウイスキー&amp;レストラン 代表取締役</p> <p>3期E <b>小野田 孝</b></p> <p>〒114 東京都北区西ヶ原4-61-11 Tel.店 03-3949-0404 Tel.自宅03-3910-1434</p>
<p>(株)エルコンパス 代表取締役</p> <p>10期A <b>堀 江 道 郎</b></p> <p>〒466 名古屋市昭和区阿由和通4-18-1 (自) Tel.052-841-9818 (会) Tel.052-841-4818</p>	<p>北部製糖株式会社 代表取締役</p> <p>9期F <b>仲 田 晋</b></p> <p>〒900 那覇市楚辺231 Tel.098-855-3378 (自宅) 098-867-0501 (会社)</p>	<p>包装資材及省力機械の総合商社 株式会社 カワムラ 社長2期C <b>川 村 長 一</b> 常務13期C <b>川 村 茂 樹</b></p> <p>本 社 〒133 文京区本郷3-20-2 Tel.03-3811-2545 営業本部 〒136 江東区亀戸9-18-2 Tel.03-3636-2711(代)</p>
<p>高千穂産業株式会社 代表取締役</p> <p>10期A <b>若 尾 迪 治</b></p> <p>〒114 北区田端3-15-3-106 (会) Tel.03-3822-1421 (自) Tel.03-3827-3200</p>	<p>有限会社 小室米店 ユーマート ゆしま店 取締役社長</p> <p>19期E <b>小 室 茂</b></p> <p>〒113 東京都文京区湯島2-11-7 Tel.03-3811-1085</p>	<p>三協ラボサービス株式会社 代表取締役</p> <p>6期A <b>椎 橋 章 二</b></p> <p>本 社 東京都江戸川区西一之江2-13-16 〒 132 Tel.03-3656-5559(代) Fax.03-3656-5599 自 宅 東京都豊島区北大塚3-34-4 Tel.03-3915-1707</p>
<p>富士写真フイルム株式会社 感材部業務課課長</p> <p>12期C <b>杉 本 安 弘</b></p> <p>勤務先 〒106 東京都港区西麻布2-26-30 Tel.03-3406-2980 Fax.03-3406-2840 (自) 〒174 東京都板橋区小豆沢4-11-3 Tel.03-3966-6056</p>	<p>株式会社 斉藤商店 (精肉・食品卸) 代表取締役</p> <p>29期F <b>斉 藤 智 夫</b></p> <p>〒112 東京都文京区白山5-1-15 Tel.03-3815-5771 Fax.03-3816-2981 Tel.03-3815-0029</p>	<p>武商事株式会社 代表取締役</p> <p>10期B <b>武 禎 一</b></p> <p>〒112 文京区小日向2-19-10 (会) Tel.03-3941-2621 (自) Tel.03-3943-3007</p>
<p>市三会は創立21年目に。例会は毎月13日(イチサンに因む)前後に開き、既に250回に達しました。会員は、現在旧制一期~新制20期と広範囲。</p> <p><b>同窓有志のサロン 市 三 会</b></p> <p>世話人：末 正明(一B) 川上光男(一B)、榎本幸三(4E)</p> <p>※なお詳しくは末 正明まで 〒112 文京区後楽2-6-1 Tel.03-3811-0755</p>		<p>星野家具店</p> <p>19期E <b>星 野 久 男</b> 20期E <b>星 野 豊 美</b> (旧姓・太田)</p> <p>〒173 東京都板橋区仲宿40-4 Tel.03-3961-9567</p>

◆奨学基金 協力者

(1口 5,000円)  
平成6年8月～7年7月  
(卒期の漢数字は旧制です)

4口	河野進	1A
	椎末正	6A
2口	新井和	1B
	静谷明	一三E
	清谷夫	四B
	鈴木一	2A
	林真	3E
	椎敏	5D
	林健	5E
	小悦	7A
	楳伸	8D
1口	大柳一	11A
	木見平	二二B
	安原谷	三三C
	藤原敏	三三C
	後正	三三E
	小永陽	三三E
	菊岡升	四二C
	岡植村	2B
	田高耕	3E
	清野公	5C
	多夫	6B
	青木昭	7D
	櫻井清	7D
	布美	8B
	岩代徹	9B
	豊田朗	9B
	島勝	10D
	門作	11C
	山田夫	11E
	崎内哲	12A
	内木義	12A
	木谷一	12C
	滝東拓	12D
	滝成忠	12F
	富原晃	14C
	大水勝	14D
	田吉子	14F
	橋原進	14G
	中本道	18B
	場子雄	19F
	大野み	21A
	登時秀	22A
	時羽子	22G
	鴨場彰	25A
	高橋明	26C
		27C
		27G
		42I

平成7年3月は学校側の事情で、全  
表彰を行いませんでしたので、全  
額積立されました。ご協力有難う  
ございました。  
なお、「諸掛り」の一部に「通信  
費に」活動費に」などと、ご寄付  
が合計118,500円ありました。  
お礼申し上げます。(会計 太田)

**編集委員** 編集長 杉本安弘 (12期C)  
椎橋章二 (6期A)・竹内常夫 (12期F)・江尻了子 (20期H)  
**編集後記** 昨年に引き続き担当した。西岡先生が逝去されたため同窓生の動静がよく把握できないこ  
とを改めて認識させられた。記事が年上者に偏っていることと反省している。若い卒業生も遠慮  
なく投稿して下さい。▶今年には終戦50周年ということで藤原滋氏の「私の中学時代」を転載し  
ました。「平和」のありがたを再認識させられた。▶史上に残る暑い夏、勤務先(写真会社)  
ではUSTRの301系問題等をこなしながらの精神的・時間的にハードな編集でした。印刷会社  
の方の気配りで完成にこぎつけました。▶同窓諸兄の積極のご意見を！(杉本安弘 12期C)

平成7年度同窓会予算

(平成7年4月1日～平成8年3月31日)

会長 静谷晴夫(四期B)  
会計 太田敏夫(3期A)

**〔財産目録〕**

〔預金合計〕	38,814,523円
基本財産	
(+500,000)	28,800,000
奨学基金	
(+100,000)預金利息含まず	6,610,141
会館建設基金	
(据置)預金利息含まず	3,404,382

**〔収入合計〕** 11,210,221円

前年度繰越金	4,068,221
入会金(終身会費)	
(14,000×353名)	4,942,000
預金利息	600,000
賛助金・奨学金・寄付	1,200,000
同窓生の集い会費	400,000
<b>〔支出合計〕</b>	<b>9,560,000円</b>
名簿発行	2,400,000
名簿(コンピュータ化費)	2,000,000
会報(紫笈)発行	2,700,000
中学校宛学校案内	
(4000部)ポスター(200枚)	500,000
郵送料	300,000
部活動後援	50,000
進路報告はがき	40,000
同窓生の集い開催費	400,000
慶弔費	50,000
幹事会	
(弁当お茶代・交通費)	100,000
運営費	
(通信・交通・記録・用品等)	220,000
子備費	200,000
〔積立金〕基本財産	500,000
奨学基金	100,000
<b>〔繰越金〕(期初運営費)</b>	<b>1,650,221円</b>

平成6年度同窓会会計報告

(平成6年4月1日～平成7年3月31日)

会長 静谷晴夫(四期B)  
会計 太田敏夫(3期A)

**〔財産目録〕**

〔預金合計〕	38,214,523円
基本財産(信託預金)	28,300,000
奨学基金(含む累積利息)	6,510,141
会館建設基金(含む累積利息)	3,404,382
〔物品〕	
書庫4・金庫2・手提げ金庫1・机2椅子1	
ストープ1・カメラ3・三脚1	

**〔収入合計〕** 10,973,758円

前年度繰越金	3,658,724
入会金(終身会費)	
(13,500×352名)→824円	4,751,176
預金利息	611,288
賛助金・奨学金・寄付	1,468,570
同窓生の集い会費	
(3000×148名)・寄付・祝儀	484,000
<b>〔支出合計〕</b>	<b>6,905,537円</b>
名簿発行	
(3,900×520冊)・枚葉(382組)	2,336,203
名簿コンピュータ化費用	0
会報(紫笈)印刷・宛名書・	
郵送料・振込書・封筒他	2,590,135
中学校宛学校案内	
(3800部)・ポスター(200枚)他	529,098
奨学金交付(図書券)	
(@10,000×0)	0
部活動後援	40,000
進路報告はがき	0
同窓生の集い開催直接費	258,552
慶弔費	0
幹事会	
(通信費・弁当お茶代・交通費)	96,364
運営費	
(通信費・交通・記録・用品等)	220,185
子備費	0
<b>〔積立金〕</b> 基本財産	500,000
奨学基金	335,000
<b>〔繰越金〕</b>	<b>4,068,221円</b>

平成7年4月12日 会計監査  
監査の上正確であることを認証します 河野一郎 印  
平成7年4月12日 横澤靖夫 印

香野梅会会友同窓会 2 冊年

【日誌】昭和72年～昭和73年(1997年～1998年)

【目次】大 部 会 報 員 名  
【A部】大 部 員 名 姓 名

高千穂定期同窓会 2 冊年

【日誌】昭和72年～昭和73年(1997年～1998年)

【目次】大 部 会 報 員 名  
【A部】大 部 員 名 姓 名

香野梅会 会友同窓会 2 冊年

【日誌】昭和72年～昭和73年(1997年～1998年)

【目次】大 部 会 報 員 名  
【A部】大 部 員 名 姓 名



1997.10.20	【編者名】
090,000.00	【発行所】
141,012.0	【発行所】東京府豊島区
090,000.00	【発行所】東京府豊島区

1997.10.20	【編者名】
090,000.00	【発行所】
141,012.0	【発行所】東京府豊島区
090,000.00	【発行所】東京府豊島区

1997.10.20	【編者名】
090,000.00	【発行所】
141,012.0	【発行所】東京府豊島区
090,000.00	【発行所】東京府豊島区

1997.10.20	【編者名】
090,000.00	【発行所】
141,012.0	【発行所】東京府豊島区
090,000.00	【発行所】東京府豊島区

1997.10.20	【編者名】
090,000.00	【発行所】
141,012.0	【発行所】東京府豊島区
090,000.00	【発行所】東京府豊島区

1997.10.20	【編者名】
090,000.00	【発行所】
141,012.0	【発行所】東京府豊島区
090,000.00	【発行所】東京府豊島区



母校空撮 (手前が折戸通り)

『紫筍』

第38号・1995年

発行・平成7年9月10日

発行者・東京都立文京高等学校同窓会『紫筍』編集委員会

〒170 東京都豊島区西巢鴨一丁目一番五号 東京都立文京高等学校内